

子どもの声から まちづくりを考える

「日雇い労働者の町」である大阪・西成は、厳しい生活環境や被差別の歴史を背景にしながらも、認定NPO法人・地域包括こども支援センター「こどもの里」、「わかかさ保育園」、「にしなり☆こども食堂」の取り組みやそれをつなぐ人々の多様な「アウトリーチ」があります。村上さんは、この地域の取り組みを支える人々に焦点をあてて、「すき間の発見と声かけ」、「安全と法権利を回復する手続き」、「SOSを出す力と受け止める力」をキーワードにして、お互いがつながろうとするこの町の子育てを「西成だからではないし、どこの地域でも実践が可能だ」と生き生きと伝えてくれます。

そのように言える根拠はどこにあるのか、西成からの実践を通して、声を掛け合うまちづくり、誰も取り残されないまちづくりの可能性と、近年問題になっている「ヤングケアラー」についてお話いただきます。

12月9日（木） 18:30~
20:30

講師：村上 靖彦さん

（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

会場：人権平和センター 螢池

申込：電話、メール、FAX、来館、HPで受付

ズーム配信あります！

メールまたは下記QRコードからお申込ください！



会場の定員は60人です。

一時保育あります。

12月2日（木）までに要申込。ひとり300円。
1歳から小学3年生まで。

**参加
無料**

主催：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

豊中市岡町北3-13-7 tel: 06-6841-5300

fax: 06-6841-6655 mail: bwz37306@nifty.com

※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためにマスクの着用にご協力ください。
また、感染状況により、講座が延期または中止になる可能性があります。

